

総代会 地震の支援金を 熊本支部に送金

日本塗装工業会神奈川県支部(長谷川秀樹支部長)は26日、横浜市内で第61回定時総会を開き、2016年度事業計画案や収支予算案など全8議案を承認し

た。長谷川支部長「写真」は、冒頭、熊本地震について触れ、日塗装神奈川支部で要請し集めた支援金を被災した同会熊本支部に送ることを報告。その上で、

「塗装業界が直面する問題は多くあるが、会員が丸となって取り組み、発展していくことが重要だ」とあいさつした。

崖地調査で4千 カ所目標に活動

県地質調査業協会

神奈川県地質調査業協会(和田陽一会長)は22日、横浜市内で第38回通常総会を開いた。

「昨年度は横浜市の崖地調査4500カ所を無事調査することができた。本年度は4000カ所を目標に活動していくとともに、社会貢献活動への取り組みにも注力し協力をPRしていきたい。地道な活動をするのが次につながる、皆さんにはこれからも協力をお願いしたい」とあいさつした。

南土木安全協議会(新井正和会長)は26日、横浜市南土木事務所定期総会を開き、安全パトロールの実施や道のイベントへの参加などを柱とする2016年度事業計画など全議案を承認した。



会に先立ち、熊本地震による犠牲者へ黙祷を捧げた後、和田会長「写真」は

新井会長「写真」は、神戸市での建設中の橋桁落下事故について触れ、「安全に慣れは禁物。工事の大小にかかわらず危険を日々意識し、心がけることが安全の第一歩。これからも引き締め災害ゼロを達成しよう」と呼びかけた。続いて4月に新しく就任した南土木事務所の本直哉所長が「事故は少しの確認の甘さや小さなミスが積み重な

五輪対策で 協会も協力を

全標協神奈川

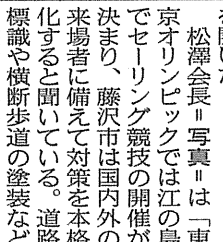


全国道路標識・標示業神奈川県協会(松澤真一会長)は26日、箱根町で通常総会を開いた。

松澤会長「写真」は「東京オリンピック競技の開催が決まり、藤沢市は国内外の来場者に備えて対策を本格化すると聞いている。道路標識や横断歩道の塗装などの整備が必要で、当協会も協力したい」とあいさつした。

「昨年度は、老朽化した構造物更新の提案、標識・路面標示の登録基幹技能者制度のPR、講習会の実施などの事業を行った。2016年度は、

鶴窪会長「写真」は、厚木管内で2016年度定期総会を開き、役員改選で鶴窪由行会長「写真」を再選した。来賓には衆議院議員らが参列した。

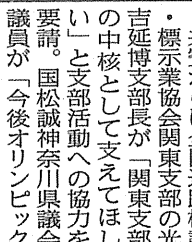


浅田支部長を再任
神測協神奈川支部

神奈川県測量設計業協会神奈川支部は22日、箱根町内で第53回定時総会を開き、役員改選で浅田京支部長、副支部長の鈴木正道氏と角田真吾氏らを再任した。

横濱建設業協会南区会(新井正和会長)は26日、横浜市内で定期総会を開き、役員改選で新井会長ほか全役員を再任した。

厚木管友会
鶴窪会長を再選

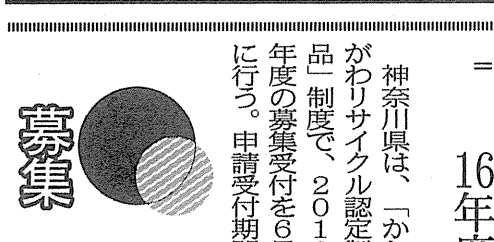


かながわりサイクル認定製品
16年度受付は6月

神奈川県は、「かながわりサイクル認定製品」制度で、審査結果は10月ごろに発表する予定。

認定期間は3年間。現在の認定製品は33製品となっている。

厚木管友会
鶴窪会長はあいさつで熊本地震に触れ、「メディアでは自衛隊の復興支援などが取り上げられがちだが、被災地の建設団体も大いに活躍している。われわれも何らかの形で被災地を支援していく」と述べた。



神奈川県は、「かながわりサイクル認定製品」制度で、2016年度の募集受付を6月に行う。申請受付期間の廃棄物を原材料としてリサイクル製品の利用を促進する制度。県は、認定製品を優先的に調達するほか、製品の情報提供に努める。

リサイクル製品として認定された場合、認定マークを製品に表示し、併せて「かながわりサイクル認定製品」の文字、認定を受けた番号を記載することが可能。

申請書は、ホームページからダウンロードする。申請窓口は環境農政局環境部資源循環課。